

環境啓発ポスター・標語コンクール事業事後フォロー活動

事業をPRする助成金20団体が活用

環境啓発ポスター・標語コンクールは、「公衛協」が展開している学社融合的な取り組みを促進し、環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会環境づくりに貢献すること」をねらいに、平成20年からスタートしました。

【表彰式・展示会の開催】

平成28年度は、24団体が参加し、3万7千点余りの応募作品から、77点(ポスター38点、標語39点)が入賞しました。当協会では、環境啓発や公衛協活動のPRとして、応募作品を広く地域住民に広報するための助成(事後フォロー活動経費助成)を行っております。今年度は20団体に助成しました。主な内容は下表のとおりです。

環境啓発や公衛協活動のPRにも高い効果があります。坂町、海田町は小学校を訪問して表彰式を行い、記念品を手渡ししました。庄原市、廿日市市、府中町は環境イベントで表彰を行い、公共施設での展示を行いました。廿日市市では大型商業施設のイベントスペースで表彰を行い、買い物客の注目を集めました。

【広報・啓発グッズの作成】

コンクール事業・公衛協の活動に興味をもってもらい、かつ、受賞作品を利用した広報活動や、啓発に用いるグッズの作成を行っています。参加者には記念品として配り、喜ばれています。作品の活用事例として一例をあげると、環境意識の啓発用に配布する広報物の作成や、作品展示会の案内チラシやポスター、祭りやイベントで使用する展示パネルなどがあります。大竹市では、事務用封筒の一部に作品を印刷、福山市では作品集や公衛協だよりの特集号で入選作品を紹介しています。作品集や作品を掲載した広報紙は、展示会終了後も不特定多数の住民に見てもらい、活用されています。

また、ボールペンなどの文具に入選作品を印刷して配布する事例も多数あり、手にとりて見てもらえるなどの利点があります。

【地域活動支援センター】

他のコンクールでの事例を含め、参考になる事例がございましたら地域活動支援センターにご紹介ください。(地域活動支援センター)

主な事後フォロー活動事例

Table with 2 columns: Activity Name (e.g., 表彰状の贈呈, 参加賞の配布) and Description of the activity.



学校での表彰・海田南小学校(上)、市役所ロビーでの作品展示・東広島市(中)、廿日市民ホールでの作品展示・廿日市市(下)

TEAM「視察交流」・公衛協「市町を越えての体験交流」

県内各地で地球温暖化対策地域協議会(以下TEAMという)および公衆衛生推進協議会がさまざまな活動を展開しています。

TEAMでは他TEAMの行事を視察し、互いの技術・知識や課題を共有する視察交流事業を行っており、今年度は脱温暖化福山中央地域協議会が実施した「小学校での環境学習・出前講座」「エコクッキング」での視察交流を行いました。また、今年度から夏季大学や専門研修(ごみ減量・3Rコース、広報・ツールづくりコース、企画づくりコース)にTEAMも参加し、公衛協との交流を図っています。

平成28年度は4件の交流事業を助成

- ①廿日市市佐伯友和地区公衛協・大崎上島町公衛協(7月14日実施)
②福山市道上学区公衛協・呉市安浦地区公衛協(9月29日実施)
③大竹市公衛協・呉市安浦地区公衛協(10月21日実施)
④福山市公衛協西部ブロック会・呉市音戸地区公衛協(11月21日実施)

このうち②では、福山市道上学区公衛協の45人が呉市安浦町三ツ口湾を訪れ、呉市安浦地区公衛協が地元小学生を対象に行っている「三ツ口湾の水産教室」を体験し、カキ養殖やアマモ場について学習しました。

参加者からは「三ツ口湾の自然環境を守っている安浦地区公衛協、安浦町まちづくり協議会、行政、市民と接し、人のつながりの太さ・深さを学んだ」「呉の地元の人と交流できて良かった」「安浦地区のまちおこしの意欲を感じた」などの感想がありました。(地域活動支援センター)



室内での学習会・交流会(左)、水産教室を体験(右) (②福山市道上学区公衛協・呉市安浦地区公衛協)